

2018年（平成30年）5月28日（月曜日）

総合

自民県連大会

鈴木会長と三役 続投

統一選など 団結確認



来年の統一地方選、参院選に向け体制づくりを進めていくことを確認した自民党県連大会
＝山形市

自民党県連大会は27日、山形市のパレスグラウンデルで開かれ、任期満了に伴う役員改選で、会長の鈴木憲和衆院議員（36）＝県2区＝のほか、幹事長の坂本貴美雄県議（70）＝新庄市区＝ら三役全員の続投を決め、来年春の統一地方選や夏の参院選の勝利に向け、一致団結して戦うことを確認した。＝1面に関連記事

会長選挙管理委員長の森田広県議が、推薦届が提出されたのは鈴木氏のみで、無投票当選が決定したことを報告した。幹事長ら役員は会長の指名事項で、坂本幹事長に加え、総務会長に女性局長兼務の大内理加県議（55）＝山形市区、政調会長は森谷仙一郎県議（59）＝天童市区＝を再任した。

幹事長代理は島津良平県議（64）＝東置賜郡区＝が引き続き担い、青年局長には波間佳寿美県議（48）＝米沢市区＝を新任した。会長、執行部役員の任期はいずれも1年。

2期目を迎えた鈴木会長は「執行部一同、危機感を持って戦っていく。憲法改正の議論が進む中、県内で

北の核廃棄実現 圧力継続が重要

県連大会で河野外相 自民党県連大会に講師として出席した河野太郎外相は講演で、北朝鮮の核廃棄実現に向けて国際社会が結束する重要性を指摘し、

「経済的な制裁を含めて、圧力をきちんとかけ続けていくことが大事」との考えを強調した。

河野氏はさらに、北朝鮮が核実験場の爆破を外国メディアに公開したことに関

も国会議員が中心となり各地域で意見交換などの機会を設ける」と述べた。大会には遠藤利明、加藤鮎子両衆院議員、大沼瑞穂参院議員、県議、各支部の代表者をはじめ、佐藤孝弘山形市長ら県内各市町村の首長、公明党県本部の菊池文昭代表ら約800人が出席した。

北朝鮮の核廃棄に向け、国際社会の結束の重要性を指摘する河野太郎外相 山形市



し「本当に閉鎖されたかは分からない。私は怪しいと思っている」と述べた。その後、記者団に「焦ることはない。国際社会が協調し、巧妙化する制裁回避を防ぐのが最大の課題だ」と語った。